

町政を問う

担い手確保に向け更なる充実を

松下 哲也
議員

町長 幅広く受け入れを整備する

問 新規就農者宿泊研修施設「しべちゃ農業校」が開設され2年が経過した。「標茶町担い手育成協議会」が中心となり研修生の育成に力を入れ取り組んできた。今年4月には第1号の新規就農者が誕生する。関係機関の努力、親身に対応してくれたコーディネーター、譲渡を快諾頂いた牧場主に敬意を表す。担い手確保に向けて次の4点について伺う。

1、研修生募集に関して今年数回「新農業人フェア」に出展して確保しているが、それ以外に農業大学校に呼びかけてはどうか。

2、研修生の手当について各町村に差は出てきているか。あるのであれば引き上げの考えはないか。

3、单身男性の研修希望が増えているが、宿泊施設がない現状である。昨年、対応について検討しているかと答弁されたがその結果は。

4、将来的には近隣町村との広域的な運営も可能と考えるがどうか。

答 新農業人フェアに毎回出展し、計画的な人材確保を図っているがブースへの来場者が減ってきている現状を考えると農業大学、農業高校でのPR活動も有効な手段と考える。また本年4つの大学の学生が中心となり企画運営する「新規就農「しべちゃ」」をぜひ成功させたい。

研修生の手当は隣接する町村と比較して高い水準であり、今後金額の見直しが必要な場合はJAと協議をする。

单身男性用の宿泊施設は次年度、

沼幌川沿線町道附近の災害復旧について

黒沼 俊幸
議員

町長 災害復旧事業要件に適合しない

問 平成28年8月19日から一週間に4回も大雨をもたらし一昨年の8月にも被害のあった沼幌地区川沿線の道路は、土砂流で2日間も交通麻痺を起こした。そこで次の3点について伺う。

1、十勝地方で河川の氾濫や橋の破壊、堤防の決壊で農地の泥の流入などと同じく本町もこの地域へ災害の報告を北海道と国へ行ったと思うが経過と内容を伺う。

2、町道の左側は補修がなされたが右側は土嚢が3段位に積み重なったもので応急処置の状態にある。新年度で復旧工事を予定はあるか。

一棟二戸の住宅を研修生住宅の横に設置する。

根釧酪農ビジョン推進会議で他町村との連携を密に検討して行く。

3、現在は冬期間で土砂流出はないが今年度の夏には、また災害の発生が予想される。災害防止の対策は考えているか。

答 この被害の原因は隣接の草地から流出した土砂によるもので災害復旧事業の採択要件に適合していないので北海道への報告は行わず復旧工事は、町単独費により実施している。新年度の町道の復旧工事の予定は、昨年実施した流入土砂の撤去、決壊した路肩、法面の復旧工事はすでに完了しており、路肩に積まれている土嚢は降雨の際、道路に流入する土砂を防ぐ目的で設置している。



沼幌地区川沿線の道路

深見 迪 議員

入学準備金単価、前倒し支給など就学援助の改善を

教育長 今後研究していく

問 就学援助費の新入
学児童生徒入学準備費用について国の補助単価が2倍に引き上げられた。これはこのとおり実施されるか。

今回の単価改定については準要保護世帯にも適用すべきと考えるかどうか。

以前も質問し改善を要求したが、就学援助の入学準備金の支給時期について、前倒し支給を実施・約束・検討した道内の市町村は、2月初め現在で8市15町と広がっている。

北海道教育委員会がこの点について通知文書を改訂したと聞いているが、どのような内容か。

小中学生の入学準備金についての以前の質問に対する答弁では、「所得証明の発行が5月以降」なので困難であり実施できないとの答弁であったが、入学準備金の返還が必要となるケースは少いとの実態も出てきていて、実施に踏み切っている市町村

が増えてきている。前倒しで入学準備金を支給するべきではないか。



答 準要保護世帯に対する就学援助費については、今回国の支給補助単価で2倍に引き上げられた給与費目については、今後支給の見直しを検討していく。

入学支給準備金の時期についての道教委の改定内容の通達は、援助を必要とする世帯が、もれなく就学援助ができるよう配慮することや、援助費支給にあたっては、速やかに支給することができるよう十分配慮することが新たに示された。

入学時前の援助の必要性については十分理解しているので研究していきたい。

深見 迪 議員

役場庁舎建替え計画の時期、規模、予算について聞く

問 災害時に災害対策本部が設置される庁舎の耐震化状況調査では、釧根11町村で耐震化していない町村は、3町のみでありその一つに標茶町が入っている。

本年1月25日付で、「市町村役場機能緊急保全事業について」とする都道府県・市町村課長会議配布資料が提示された。庁舎の建替えを緊急に実施するため、「市町村役場機能緊急保全事業」を創設するとなっていて非常に有利な財政措置となっている。

これに合わせて庁舎建替えの計画を持つ予定はあるか。

答 役場庁舎は、平成20年度に実施した耐震診断の結果、震度6強の地震に耐えることができないという結果が出た。

本年創設された「市町村役場機能緊急保全事業について」では本町庁舎は、この事業に該当する可能性が高いものと判断している。

現時点では、庁舎より先に整備しなければならぬ案件があり、他の施設の整備状況あるいは、他の重要な事業の進捗状況等も合わせ、又財政状況も見据えながら今後判断していく。



改築が必要な役場庁舎

多和育成牧場運営を再検討すべき

本多 耕平 議員

町長 長命連産性にたけた牛づくりに努める

問 昭和47年より育成牧場を開設、公共牧場としての初期の目的に達しつつあるが、酪農情勢は日々変化し、牧場への期待、要望もまた変化している。

大型化経営による哺育事業は、経営者の大きな負担であることから、サポート事業として、又、当牧場としても重要な位置づけがされている。

27年度の全体預託延頭数は100万頭であるが、現況の施設、草地面積ではマックスと考える。基本的な牧場運営方針を理解しつつも、更なる時代変化に対応できる牧場運営となる為、次の点について伺う。

- ①利用戸数は町外利用が多いが、町内利用を優先すべきではないか。
- ②上オソツベツの施設の効率的な利用も含めて、施設の新、改築の計画はあるか。
- ③職員の増員を図るべきではないか。

④28年秋からの死亡増も踏まえ、衛生管理をどのようにしているか。

⑤運営委員を全町地域より選出すべきと考える。



多和育成牧場牛舎

答 家族経営規模の町内利用者の要望を中心に対応している。町外の新規利用者は制限している。

現基地での恒久的な畜舎建築や増築は、将来の預託の意向を把握し検討していく。上オソツベツの施設は、伝染病や災害地の避難的施設と位置付け、通常時での使用は考えていない。

職員は、新年度に2名の増員を予定している。

衛生管理は、一時呼吸器系疾病が蔓延し貴重な後継牛を失いお詫びしたい。現在は通常に運営している。牧場運営審議会委員は条例の変更も考え、意見の集約に努めたい。

本多 耕平 議員

酪農施策を具体化した計画を望む

問 基幹産業を取り巻く情勢は一段と厳しくなっており、更なる農業支援、農業施策の充実が喫緊の課題である。釧根酪農ビジョン、標茶町酪農近代化計画に基づく具体的計画を聞く。

- ①草地更新を4%から10%にする目標をどう具体化するのか。
- ②担い手を50人から80人にする対策をどう行っていくのか。
- ③生乳1kg所得を20円から30円に増やす計画をどう進めるのか。



羊の授乳

答 それぞれの数値目標は年次ごとには出していない。草地更新率は8年サイクルで、年10%としているが、平成27年度で5.5%となっており、引き続き酪農再興事業による草地更新を推進していく。

担い手については、農業研修センターでの新規就農者研修生の受け入れに取り組んでいく。

所得増については、乳価のアップや固体販売も高値で推移しているが、経営の安定を図り、製品の安定的供給に向け関係機関と連携をしていく。

鈴木 裕美
議員

子ども食堂つきの子どもの居場所づくりを

町長 本町の取り組みを尊重していきたい

問 北海道は貧困対策の一環として様々な困難な課題をかかえる子どもたちが地域とのつながりを持ち、安心して暮らすことができるよう地域の居場所づくり推進事業を取り組んでいる。

居場所づくりの内容の中に子ども食堂に取り込む活動も広がっており、道内でも15市町村の自治体やNPO等が取り組んでいる。この推進事業の対象範囲支援内容について伺う。

この事業は、平成29年度までの補助事業だが、子どもの居場所づくりとは、心豊かで、たくましい子どもたちを社会全体で育むため、地域の大人の協力を得て放課後や週末などを活用し、様々な体験活動を行うことについて伺う。

本町においても、子ども食堂も含めた子ども居場所づくり事業を実施すべきと考えるがどうか。

答 子ども居場所づくり推進事業は、市町村が実施主体となり、公民館、児童館等を実施場所として、週一回以上の食事の提供や学習支援、行事やイベント等の提供など、子どものSOSを受けとめる相談支援や生活相談を行うこととされている。本町の教育委員会においても各地域でも、アドベンチャースクール、地域子ども教室、子ども朝活など、様々な事業を展開している。今後、これまでの各地の取り組みを尊重し地域づくりに努めていきたい。

本町のゆるキャラ、ミルクックさん、ハッピーくろべえは本町のPR役として大きな役割を果たしている。町民の中には、この着ぐるみの小さなグッズがあればとの声が寄せられている。本町を訪れた観光客や町民のマスケット、お土産としてグッズをとの声もあり、ぜひ製作販売をしてはと考えるがどうか。

ミルクックさん、ハッピーくろべえのグッズ製作を

鈴木 裕美 議員

問 本町のゆるキャラ、ミルクックさん、ハッピーくろべえは本町のPR役として大きな役割を果たしている。町民の中には、この着ぐるみの小さなグッズがあればとの声が寄せられている。本町を訪れた観光客や町民のマスケット、お土産としてグッズをとの声もあり、ぜひ製作販売をしてはと考えるがどうか。

本町を訪れた観光客や町民のマスケット、お土産としてグッズをとの声もあり、ぜひ製作販売をしてはと考えるがどうか。



答 ミルクックさん、ハッピーくろべえのキャラクターは誕生以来好評を博しており町内事業者の方がキーホルダー、缶バッジにミルクックさん、ハッピーくろべえを活用した商品を製作しテスト販売をしている。先に解決しなければいけない課題の解決に向け準備をし、様々なチャレンジに協力していく。

本町を訪れた観光客や町民のマスケット、お土産としてグッズをとの声もあり、ぜひ製作販売をしてはと考えるがどうか。

「しべちゃコスモス」で働く人たちの自立支援を

渡邊 定之
議員

町長 一般就労の移行はかなり難しい

問 標茶町社会福祉協議会のホームページには、「しべちゃコスモス」は、就労経験のある障がい者などに対し、就労の機会を提供すると共に、生産活動などの機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練などを行うサービス」であると書かれている。また、「設立までの経緯」には「在宅で生活する障がいを持った方が自立した生活又は社会生活を営むことができるように」とも書かれている。

これは、町の第四期障がい福祉計画にも書かれてあることだが、コスモスに通所する人たちが、自立した生活、社会生活を営むことができるためには、自立が可能になる収入を得られることが重要であると考えるが、次の点について伺う。

1、町からの受託事業があるが、この事業拡大と合わせて予算増額が必要と思う

がどうか。

- 2、障がいを持つ人たちが就労し、自立できるよう支援の具体的な考え方、方向性がどうあるべきか伺う。
- 3、町と事業を展開している社会福祉協議会との連携のあり方について伺う。



答 委託単価については健常者に支払う単価と変わらないので単価の増額は難しい。しべちやコスモスの体制が整わなかったことから受託事業の拡大にはつながっていない。

一般就労に移行することはかなり

難しいと考えている。個々には状況も違うので地域生活相談事業等活用しながら相談支援を行っていききたい。

しべちやコスモスとの連携については事務所賃貸料の支援、標茶町育成牧場の委託事業の提携など連携を取りながら進めている。

渡邊 定之 議員

標茶町酪農・肉用牛の近代化計画書の重点政策は

問 「標茶町酪農・肉用牛の近代化計画書」では、「標茶町農業研修センター」「しべちや農業校」を中心に新規就農者を育成、確保する」とあるが成果を聞く。

研修の場がTACSだけではなく、研修生の希望も聞きながら多様な研修のあり方を考えてはどうか。農民の高齢化や農家の継承の課題解決のために、農家に直接研修に入り、そのまま農家を継承していくような事業の展開は考えているのか。

答 平成27年にしべちや農学校を開

設し、これまで夫婦4組、単身女性1人の研修生を受け入れており、このうち夫婦1組が虹別の経営継承を希望しており、本年4月より営農を開設することとなった。

研修生の希望に沿った研修では今までも研修生が描く酪農経営スタイルに合わせる形で研修先や研修力リキラムを組んできたが、希望する研修先とはならないこともある。

TACSではつなぎ牛舎での研修に特化したグレイジングTACSを開設することとなり研修の選択先も広がることとなると思う。



問 釧路市湿原国立公園の中にあり

町民の憩いの場である「憩の家かや沼」について今、多くの町民が存続を願い心配している。標茶町も出資しているので質問をする。

1、標茶町観光公社は営業しているが、経営責任者と会計責任者は誰

なのか伺いたい。

2、今年度の取締役会は何回開かれたのか。又、その内容について説明を求める。中でも不祥事等の内容については、どのような協議をされ、その顧末はどのような結論に達したか。更に不祥事に対しての経営改善計画と再発防止策は出来たのか伺いたい。

3、12月末の経営状況はどの様になっているのか、又、今後の見通しについて説明を求める。

4、経営継続にあたり、今の役員体制のまま運営していくか、役職員を含めどの様

「憩の家かや沼」に於ける運営について

櫻井 一隆 議員

町長 早期の健全化に努力する

な運営体制なのか伺いたい。
5、一般町民の株主からは、配当にあたる食事券、入浴券が貰えなかったとガツカリしている。今後、株主配当はどうなるのか 考えを伺いたい。

答 指定管理を受けている町観光開発公社からの報告をもとに説明をする。

- 1、経営責任、会計を含め代表者である社長にある。
- 2、取締役会は8回開催し内容は、経営継続と不正経理と防止策が話し合わせ、改善計画は中小企業診断士と相談し作成した。
- 3、今年度の経常損益は、1047万3千円の赤字決算の見込みである。
- 4、役員体制は現状のままとするが、取締役会での協議となる。又運営方針については、改善計画で示している。
- 5、今期の株主配当は控える事を取締役会で決定している。
早期に健全化に努力をして株主の期待に応えたい。

熊谷 善行
議員

ふるさと納税の取組みと現状について

町長 返礼品の選定が困難

問 町長は、平成28年の第1回定例会で、ふるさと納税への取組みの質問に対し、「町づくりに必要な事業を提示し、賛同してくれる方に対し返礼品を検討する。」と答弁をした。

最近の報道では、返礼品競争が過熱し、総務大臣も「返礼品によつては制度の趣旨にそぐわない。」と見直しを示唆している。
そのような中、標茶町出身の多くの方から「標茶町はふるさと納税の返礼品等は設けていないのか。」との質問が寄せられている。
また、標茶町民で自分の出身地へふるさと納税している人もいるのではないだろうか。

前記を踏まえ3点について伺う。

- ①平成27年度、標茶町民が他市町村へふるさと納税した実績、件数と金額について聞く。また、平成28年度の分かる範囲の状況について

も聞く。

- ②平成28年度の、標茶町へのふるさと納税の件数と金額について聞く。
- ③「町づくりに必要な事業を提示し、賛同してくれる方に対する返礼品」をどのように選定し、いつ頃WEBサイト等に公開するか。

答 平成28年度寄附金税額控除の適用を受けた人は17名で、寄附金額は72万円となっている。ふるさと納税ワンストップ特例制度を利用した人は14名で、寄附金額は92万4千円となっている。平成28年度ふるさと納税は2月27日で10件、33万円となっている。返礼品については、関係団体とも相談しているが、返礼品となる特産品選定が困難であることと、体制づくりが難しいとのことである。

熊谷 善行 議員

バイオマス資源の利用について

問 平成26年度に「標茶町バイオマス資源の効果的な利用に向けた調査」を実施し、調査報告がされ、

昨年10月に本町は、バイオマス産業

都市の認定を受け、3日の総務経済委員会の所管事務調査で報告された。
本町におけるバイオマス資源利用は、林業における森林間伐材等の木質バイオマスエネルギーの利用や、酪農畜産業における家畜排せつ物の処理にかかるバイオガスプラントなどが考えられるが、ともに多くの課題があると考え、これからのバイオマス資源の利用及び産業化への取り組みと今後の構想について伺う。

答 木質バイオマスについては、本町の林業、林道や土場の状況から採算性の面で早期な取り組みは難しい。

家畜排せつ物のバイオマスを原料とするプラントについては、メタン発酵施設を軸にした活用を図りたいと考えている。本町では北電との連携が難しいことから、固定買取制度を活用した事業化は難しいと考えている。生成したバイオガスをガスとして利用する方法、地域内、特に公共施設などへ供給するためのバイオガス発電、余剰熱を利用したハウスクリーニングなどを検討している。

総括質疑

予算審査特別委員会

本年度予算案について、より慎重に詳しく審議するために、議会は予算審査特別委員会を設けて議論しました。10名の議員が総括質疑を行いました。

平川 昌昭 議員

問 28年度・町税は10億に達する見込みだが、予算では前年比8.5%の増収を積算した根拠をきく。

答 町税全体で前年比8.5%を見込んだ根拠については、町民税については、農業所得等が伸びていること、法人税についても決算見込みが伸びていることから引き続きいものと判断したこと、固定資産税については、農業施設や設備投資の増によるもの。

問 滞納整理機構については事前にご相談できる業務を考えているのか。また、職員派遣についてどのように考えているのか。

答 滞納整理機構については、毎年度引継ぎ等について協議を行い、今年度も12件の引継ぎを予定している。

ている。職員派遣については、平成29年度の派遣はないが、今後の派遣はローテーションが組まれている。

問 第四期総合計画での酪農学園大学連携事業については、今後無人飛行ロボット等を活用し産業の振興発展に積極的に協定を図るべきでは。

答 平成23年に協定を結び、エソシカ調査、酪農振興、農業技術の研究等を取組んできた。今後は個別案件毎のテーマを中心に進めていく。ドローンの活用については、エソシカ調査、農地の管理等を考えている。

問 食肉加工センターの基本設計を今年度計上しているが、12月末以降の事業内容と協議の進捗を聞く。

答 12月以降については、候補地を選定し、1月、根室漁協の組合長会において説明をし、反対意見を聞くが、今後については関係団体との協議を進めていく。

問 川上団地は改善工事として今年度から始まるが、既存者の引越先住宅の周知や入居者優先度と月額家賃の規定についてどう決められて

いるのか。

答 入居者が最優先であるので、できるだけ入居者の意見を聞く。家賃については公営法に基づき算定している。移転先については、ときわ団地の改修、移転を周知している。

問 標茶高校教育振興会に毎年度500万円を補助している中で、町外からの通学生や寮生の休日における食費等の援助策なども提言するべきではないのか。

答 振興補助金については、生徒募集、寮の補助、生徒の研修、スポーツの補助等を行っている。寮生の休日については対応していないが、今後、教育振興会で協議していく。

鈴木 裕美 議員

問 タックスで研修している家族へ子育て支援、早朝保育を実施してはどうか。

答 現在実施している制度の中で利用してほしい。

問 スポーツ推進委員による実技指導とはどのようなものか。

答 気軽に行える健康体操、軽スポーツの普及指導を行っている。

問 プールでの指導者の配置をしてはどうか。

答 参加人数の減少もあり、週一回のワンポイント教室を開催し、指導を行っている。

問 町内での循環バス運行を検討することになっているが、内容と運行時期の見通しについて伺う。

答 関係機関との協議、認可も必要でありできるだけ早く試験運行をしたい。

問 専門職の人材確保が図られるよう、育英資金貸付制度の充実をどのように考えているのか。

答 酪農業、医療、介護、福祉に係る人材に対し貸付したい。審議委員会決定していく。

渡邊 定之 議員

問 虹別中学校教員の不祥事により家族の不信や不安を持たれたがどのように取り組んだのか。

答 家族保護者への説明会を持ち、家族からも意見を聞いた。教科担任についても生徒に影響のないよう対応した。

問 修学旅行の引率に教員の資格のない人でも行けるのか。

答 本来はできないが、学校体制上困難であったので、補助的な任務として同行させた。

問 来年度は虹別中学校の養護教員、事務職員の配置はできるのか。

答 学級数が増えたので養護教員、事務職員の配置はできる。

問 虹別線バスの運行トラブルがあったが原因は何か。トラブル発生時のマニュアルはあるか。

答 予備車の暖房が故障した。トラブル発生時は、担当者に連絡が来る。

後藤 勲 議員

問 川上公住全面改修で煙突式ストーブを廃止し、FFストーブにするなら補助金を出すべきではないか。

答 住居が広く使えるので、ストーブについては自前になる。消火器の訓練も指導していく。

問 国道391号線釧路標茶間を片側2車線にするよう関係機関に要望していくべきではないか。

答 緊急度合いで、塘路橋を広い橋にする要望をしている。

問 町内を回る循環バスの運用が必要ではないか。

答 10人乗りワゴン車位のを検討しており、試験運行は無料で行う考えである。

問 町民の要望も多い標茶駅前通りに防犯カメラの設置を望む。

答 弟子屈警察署からの要請もあり検討していく。

櫻井 一隆 議員

問 ゴミ処理場の資材管理及びゴミ収集車の維持は責任を持って行うべきではないか。

答 ゴミ収集車は処分を含め、責任を持って検討する。

問 家電製品が処理場内に保管したままである。速やかに処理をすべきでないか。

答 家電リサイクル法に従い速やかに処理をする。

問 ドローンの購入に合わせ、操作の講習、研修会に職員を派遣し技術の習得をさせるべきでないか。

答 前向きに検討する。



問 多和育成牧場で哺育牛の死亡事故があったが、内容と原因の究明はできたのか。

答 限界を超えた哺育牛の受け入れと流行性呼吸器症候群が発生したが、今は収束をしている。新たな試みとして地中熱を利用した育成舎の導入も行っている。

黒沼 俊幸 議員

問 昨年、阿歴内墓地の町道の砂利敷がなされ、霊園内の駐車場への砂利搬入もされた。昨年の大雨で東阿歴内墓地への町道もかなり砂利が流されたので整備すべきである。

答 墓地に通じている道路は町道であり、砂利敷きなど整備を進める予定である。墓地内の駐車場整備も墓地管理組合と連携して進めたい。

問 食肉加工センターについて、昨年の12月定例会で西別川水系と

釧路川水系の両方で数力所に絞って検討中と言った後、直後に虹別に内定したとのことだが、西別川下流域の漁業者との協議はどのように進んでいるか。

答 根室地域の漁協連合会に施設の内容を説明し、理解をもらうよう努力中で、5、6月中に結論が出るかについては未定である。

本多 耕平 議員

問 病院駐車場のロードヒーティングを補修すべき。

答 技術関係者と協議をして対応していきたい。

問 旧阿歴内小中学校の今後の有効利用はどのようになっているか。

答 町内出身者からニンニクの水耕栽培と、校舎についてはゲストハウス、ホテル、レストランの利用計画書が出されて進んでいる。

問 上チャンベツ東国牧野はどのような管理をしているか。

答 2戸の使用で年間6千頭の利用がある。未利用地の活用は、水と環境を守る意味においても色々と考えていきたい。

問 労働団体祭典補助金60万円の趣旨は何か。

答 労働団体祭典実施事業補助金として補助している。

深見 迪 議員

問 教育行政方針に「コミュニティ・スクール」についての記述があるが、どのような構想でいつ頃をめどに発足しようとしているか。

答 道は平成30年度をめどに発足を目標としている。本町も30年度をめざし、本町のこれまでの教育資源を生かしながら具体的に検討していきたい。

問 英語教育についてスムーズに移行し実施される見通しか。

答 新学習指導要領では小学5、6年生は年70時間になり、英語活動から英語課になる。35時間増えた時間をどうするか等今後検討していく。

問 本町は、備荒資金組合になぜ、20億円もの超過積み立てをしているのか。

答 2年前に町民に約束した1〜3段階の介護保険料を、この備荒資金超過分を支消して約束通りに安くしてはどうか。

答 介護保険には一般会計から繰り入れ出来ないという原則がある。消費税値上げを前提とした値下げだったので安くはできない。

問 子ども子育て支援交付金が986万3千円計上されている。新三法の中でのどのような事業に力を入れて事業展開するのか。

答 新三法になりへき地保育所や学童保育所の予算も増えてきているので反映していきたい。病児保育も検討材料にしていく。

問 国保運営方針の答申、決定、公表はいつ頃になるか。

答 5月下旬、道国保運営協議会が答申、7月決定、9月に議会に報告となっている。

熊谷 善行 議員

問 郷土館機能移転予定施設改修事業は、29年度においての財源内訳に変更があるが、内容はなにか。

答 地域活性化事業債（転用事業）を申請するため予算計上した。

川村多美男 議員

問 小1プロブレム、中1ギャップの取り組みを聞く。

答 小学校教諭が幼稚園児の様子を見て園児がスムーズに小学校に入れるよう取組む。中学1年生は生活習慣が変わり学校に行けなくなるが、その時々で対応する。

問 ICT機器の有効活用による授業の改善内容を聞く。

答 実物投影機、カメラ機能で黒板やスクリーンに写し皆が見ることがができる。

問 いじめ根絶に向けた1学校1運動は学校毎で取り組むのか。

答 各学校の児童会、生徒会が自己的に何を進めて行くか決めて取り組む。

問 歯周病検診の具体的な取り組みを伺う。

答 まだ細かく決めていないが年齢限定等、今後、町広報で周知して行く。

問 子育て応援給付金は何人分を見込んでいるのか。

答 29年度341人で99%事業実施している、29年度は3万円を400人分見込んでいる。

問 軽費老人ホームは老朽化に伴い排水管等修理し維持管理してきた。今後の課題は。

答 介護度のある方も入居しているので安心安全な管理を第一に運営して行く。



問 町立病院の空きベッドを活用したサテライト方式の考えはどうか。

答 今後検討されると思うが安全安心の生活をどう送れるかを第一に考えて行く。